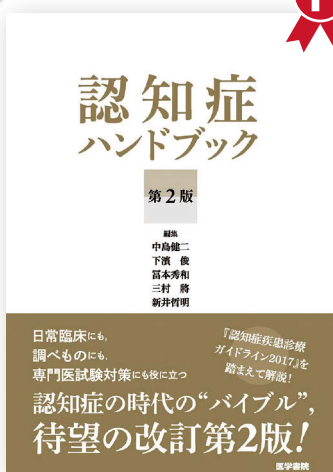




認知症ハンドブック

第2版

中島健二、下濱 俊、富本秀和、三村 将、新井哲明＝編
本体 10,000 円＋税／A5 判・946 頁／医学書院／2020

認知症に関わる医療従事者が知っておきたい知識を網羅した決定版、7年ぶりの改訂。診断や薬物療法・非薬物療法、リハビリテーションやケアなど、臨床で必要となる情報を『認知症疾患診療ガイドライン 2017』(医学書院、2017)に沿って解説。基礎研究に関する情報も臨床で役立つ内容を中心にアップデート。今回も「認知症臨床のエンサイクロペディア」と呼ぶにふさわしい内容に仕上がっている。



医薬品情報のひきだし

奥田真弘＝監修
村阪敏規＝執筆
妹尾昌幸＝執筆協力

本体 3,600 円＋税／B5 判・326 頁／医学書院／2020

PPI (プロトンポンプ阻害薬) の副作用で下痢が発現する理由は？ アセトアミノフェン経口製剤は空腹時に服薬できる？ 錠剤を粉砕した時の重量ロス？ 本書は、こんな臨床現場で迷いがちな薬の疑問を迅速・的確に解決するための情報が詰まった「ひきだし」である。大学病院で DI (drug information) 実務の経験を重ね、現在ウェブサイト「CloseDi (薬剤師のための医薬品情報編集室)」を主宰する気鋭の若手が執筆。医学論文・医薬品添付文書・IF (医薬品インタビューフォーム) に基づく解説が豊富で、DI 実務の考え方も楽しく学べる！



不整脈心電図の読解トレーニング

難解な症例をいかに読み解くか

George J. Klein＝原著
鈴木文男＝監訳

本体 8,200 円＋税／A4 判・304 頁／医学書院／2020

不整脈領域での診断技術の進歩はめざましいが、心電図は今なお不整脈診断の基礎である。本書は、国際的に有名な George J. Klein 医師が選りすぐった 90 以上の症例から問題を作成し、普遍的な診断能力のレベルアップを図る構成となっている。問題を解きながら心電図不整脈診断の体系的なアプローチ、重要なイベントの同定と測定、そして電気生理学的な解釈の仕方をどんどん学べるエキサイティングな良書！